

事業所名		知立市立ひまわり園			公表日	
					令和7年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15		・こどもたちが伸び伸びと過ごせるよう、十分な広さのスペースを確保しています。こどもの姿・活動に応じてグループに分かれ落ち着いて過ごすことができるよう工夫しています。 ・活動に応じてグループに分かれ落ち着いて過ごすことができるよう工夫しています。	・引き続き活動とこどもの状況にあった環境（部屋等）の整備に努め、必要に応じ散歩や近隣の公園の利用にも努めていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	16		・こどもの人数に対して適切であり、個々の様子に合わせて他の職員が柔軟に対応しています。	・運営規程上の職員の配置数を満たしておりますが、こどもたちが安全・安心に楽しく過ごせるように適切に職員を配置していきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15	1	・こどもたちの発達の特徴に合わせ、絵カード・写真カード・スケジュールカード等を使い視覚的にわかりやすくしたり、場面に応じた環境設定をしています。 ・ロッカーや靴箱などにマークをつけたり、注目しやすいような区切りを利用したり、お子さんの興味の持てる方法で安心して生活できるよう、工夫をしています。 ・室内には連絡用の電話が各部屋に設置されており、必要に応じすぐに連絡が取れるようになっています。	・洗面台が高いかもしれない。 ・引き続き本人の立場で考え、場所に応じたわかりやすい環境を提供し、安全に生活が送れるよう努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	21		・毎日、清掃や消毒、整頓を行い、心地よく過ごせる環境を整えています。 ・空いている部屋に、いろいろな遊具を設定し、遊びの充実を図っています。 ・毎月、安全チェックを行い、安全面・衛生面に配慮しています。	・床暖房が良い。 ・引き続き毎日の遊具の安全点検、室内外の点検、感染予防対策を行い、安全な療育環境に努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	21		・療養室が用意されており、必要に応じ利用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	21		・行事計画については2年単位で立案し、振り返り（反省）を全員参画で行い、今後の課題につなげています。	・引き続き日々の振り返りやミーティングなど、情報共有する機会を増やし、業務改善に努めます。 ・PDCAサイクルを繰り返すことで業務改善の意識をもって、支援が行われるようにします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20		・保護者向け評価表は、1年に1度保護者の方から書面でご意見を伺う機会としており、業務改善につなげています。また、それ以外にもまた送迎時や面接時に保護者から聞き取ったご意見に対しても業務に反映できるよう努めています。	・引き続き保護者の方が意見を言いやすい環境を整えます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20		・日々情報の共有に努めながら毎月の会議や研修の際、職員からの色々な意見を職員全員で検討をし業務改善につなげています。	・引き続き職員が意見を言いやすい環境を整えます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	15	2	・第三者による外部評価は行っていないですが、県や市による行政監査で受けた指摘や指導を改善につなげています。 ・令和6年度においても、県の「愛知県福祉部福祉課 監査指導室 障害福祉事業者指導監査グループ」「福祉部所外福祉課事業所指導第二グループ」による監査と市の「庁内監査」による監査で頂いた指導を基に業務改善に努めました。	・第三者による外部評価について必要性を研究します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	21		・令和6年度においては「ケース検討会」「個別支援計画について」「防災研修」「強度高度障害について」等について研修会を開催しました。	・引き続き職員の資質向上に努め、研修会等に積極的に参加します。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	20	1	・令和7年1月よりホームページにて公表しています。	・適宜見直しを図り、常により良い療育が行われるよう取り組みます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	21		・アセスメントからニーズや課題をくみ取り、専門職からの助言や発達検査の結果を参考に、職員間で検討し、支援計画を立てています。	・引き続き、適切なアセスメントを丁寧に行い、モニタリングを行う中でお子さんと保護者の願いを汲み取り、支援計画を作成していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	21		・一度作成した計画を読み合わせ、職員で再検討したうえで立案しています。	・引き続き多角的視点で作成できるよう努めます。

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21		・原案に基づいた計画を会議にかけ、多角的視点での検討をした上で計画を立案しています。	・引き続き職員会議で個々の課題に対する支援方法を確認します。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1	・標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントの実施と共に、様々な職員からの声を聞きとるなどお子さんの様子について毎日記録し、お子さんの適応行動の状況を確認しています。	・引き続き、職員間で確認をしていきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15		・「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「人間関係・社会性」「言語・コミュニケーション」5療育の総合的支援の提供に努めます。 ・個々の発達や姿に合わせ、生活面や遊びについての短期目標・長期目標を立て、見直しをしながら設定していきます。 ・職員間で具体的内容を検討し、共通理解を図ったうえで行っています。	・今後も「児童発達支援ガイドライン」に基づき、提供すべき支援を適切に選択し、具体的な支援内容を設定していきます。 ・「移行支援」及び「地域支援・地域連携」に関しても内容の充実を図っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	21		・前月の活動の反省を踏まえ、活動プログラムは専門職の助言を取り入れながらクラス担任間で話し合って立案しています。	・引き続き、専門職の助言も取り入れながらより良い活動が行えるように努めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	21		・感触遊び、運動遊び、集団遊び、音楽、制作、季節の遊びなど、色々な活動プログラムの中からこどもの姿に応じてねらいを持ち、計画しています。	・引き続き、活動プログラムを固定化しないように職員で話し合いながら計画していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	20	1	・個別活動として、着脱、排泄、食事等、身辺自立に向けた支援計画を作成しています。 ・集団活動として遊びの中で順番ややり取り等、スキルが身につくよう計画しています。	・引き続き、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた活動を計画していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	21		・毎日朝礼で打ち合わせをして、活動内容を打ち合わせたり、役割分担の確認をしています。時差勤務の職員にも伝達しています。	・引き続き、朝礼で支援内容や役割分担を確認し実施していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	21		・支援終了後には、その日にあったことや、気づきを振り返り、意見を出し合ったり共通理解をし、翌日の支援につなげています。	・引き続き、支援終了後、クラス内で振り返りをし、改善策を話し合います。また、それを翌日以降の活動や支援内容に反映します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	21		・日々のこどもの姿を記入しています。	・引き続き、支援の検証・改善につなげるよう努めます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	20	1	・子どもの姿を保護者と共有しながらモニタリングをし、個別支援計画に繋げるとともに保護者支援にもつながるよう努めています。 ・適切に個別支援計画の見直しを行い、保護者と確認しながら次の支援目標を定めています。	・半年ごとのモニタリングの他、見直しが必要な場合はその都度モニタリングを行い、支援計画を修正していきます。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	19		・ケースに応じて必要な職員が参加しています。	・引き続きケースに応じて必要な職員が参加していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	19		・状況に応じて必要な関係機関と連携が取れる体制を整えています。	・引き続き、関係機関との協力体制のもと、お子さんの支援に努めます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19		・地域の保育園や小学校での体験や交流、支援学校の見学などの機会を設けています。 ・並行通所しているお子さんについては保護者の方の同意を得たうえで、支援内容等の情報共有を行い相互理解を図っています。	・お子さんにとってより良い支援が提供できるよう努めます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	19		・スムーズな移行ができるよう、保護者の同意を得たうえで支援内容の共有を行っています。また、「知立市立ひまわり園」の日ごろの療育においても5歳児のお子さんには就学に向けた視点を取り入れ行っています。	・引き続き、関係機関との情報共有に努め、療育の資質向上に努めます。
	28	(28～30は、センターのみ回答)	19		・近隣五市で連携をし、施設実習を行っています。また、その中で実施している研修にも参加しています。 ・地域全体の質の向上を目標に、市内事業所と共に研修に参加しています。	・引き続き、地域全体の質の向上を図るための研修等を計画し、顔の見える関係づくりに努めます。
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	21		・愛知県や西三河で行われている巡回指導を受けたり、職員が交代で外部研修にも参加しています。	・引き続き、積極的に研修等乗降する機会を設け、資質向上に努めます。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	18		・代表者が参加しています。	・子ども部会や子ども・子育て会議等にて他機関の現状把握に心がけ、障害福祉における体制整備に努めます。
		(31は、事業所のみ回答)				

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	19		・クラス別に市内公立保育所と交流保育を行い、園庭で遊んだり室内にて自由遊びを楽しむ機会を設けています。	・子どもたちに無理のないよう、引き続き交流できる機会を設けていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	20		・主に連絡帳と送迎時に伝達になっていますが、その日にあった事柄をわかりやすく伝えたり、家庭での様子を伝えてもらったりしています。 ・年に2回の「親子で遊ぼう会」では職員と一緒に活動に参加する中で、子どもの様子を知って頂いたり、モニタリングの際には保護者にミラー越しに子どもの姿を見ながら様子を伝える機会を作り、保護者と共通理解が図れる様努めています。	・引き続き保護者と共通理解を深められるように努めていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	20		・「保護者向け学習会」の中で子どもの理解を深め、関わり方を学ぶ機会としています。	・令和7年度においては、保護者から頂いたご意見（アンケート調査より）を基盤に内容を計画し取り組んでいく予定です。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	19		・入園時に必ず説明を行った上で保護者より同意を得ています。	・説明会だけでは保護者の方々が理解しきれない部分があれば、保護者からの問い合わせ等に応じ、その都度丁寧な説明ができるよう心がけていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	19		・保護者の方に日ごろのお子さんの様子を観察していただきながら、どんな支援を行っているのか、また現在どんな課題があるのかを説明後、面接にて意向を確認し「児童発達支援計画」を作成しています。	・引き続き丁寧な説明を心掛け、お子さんの最善の利益の保障に努めます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	19		・保護者の方へ支援内容の説明をし、同意を得たうえで実施をしています。	・ご家庭でのお子さんの姿や療育に対する保護者のご意見を伺いながら説明をし、同意が得られるよう努めます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	20		・個別懇談会を年に2回設け、保護者の相談に応じています。 ・保護者からの悩み、相談があればその都度対応しています。	・送迎時や連絡帳、電話等でいつでも相談におうじます。 ・今後も保護者が相談しやすい環境づくりを目指し、適切な支援ができるように努めていきます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	19		・保護者会、OB会、茶話会等の参加を支援しています。	・兄弟同士で交流する機会を設ける等の支援はできていないため、今後検討をしています。 ・令和7年度においては兄弟について話し合う講座を予定しています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	19		・相談には即対応しています。担任、児童発達支援管理責任者、園長が話を聞き、必要に応じて外部機関と連携しています。	・引き続き相談や申し入れに対し、迅速かつ適切に対応していきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	19		・定例の園だよりに加え、行事の案内を配布しています。また、活動内容を写真で知らせたり、感染症情報等を掲示しています。 ・緊急時の対応としては「きずなネット」の登録をしてもらい対応しています。	・毎年入園式において連絡事項により様々な連絡方法があることをお知らせしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	19		・個人情報は鍵のかかる書庫に保管しています。 ・行事の際には、保護者が撮影した画像、映像の扱いに留意してもらえるよう話をしています。 ・個人情報やセキュリティの取り扱いに関する研修やチェックが定期的にあります。	・引き続き個人情報の取り扱いに十分に注意していきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20		・一人ひとりのお子さんの表現の仕方・理解の仕方を丁寧に見極め、意思の確認をするよう努めています。	・お子さんとのコミュニケーションの中でより有効的な方法を探し、絵カード（写真・絵・文字）等、お子さんに合った意思疎通の手段を工夫しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	15	・様々な場面で「知立市立ひまわり園」の事業内容を説明させていただいております。	・引き続き、地域に開かれた事業運営ができるよう取り組んでいきます。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19		・自然災害や火事、不審者対応、嘔吐物処理、AED操作方法の確認と保護者への引き渡し訓練を行いました。 ・訓練ごとに反省をして対応の改善につなげています。	・マニュアルの周知徹底と柔軟な対応がとれるよう、引き続き様々な事態を想定し訓練を実施していきます。 ・保護者に向けての周知方法も検討していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	20		・業務継続計画（BCP）は策定しております。避難訓練では火災、地震、不審者等を想定した訓練を月に1回実施しています。 ・防災訓練では非常事態に備え知立市全体で協力体制がとれる様訓練をしています。	・毎年お子さんの様子も異なることから、様々な事態を想定しての訓練を行うことができるよう努めます。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	19		・入園時に「健康の記録」を記入してもらい、保育士・看護師・保健師が保護者から状況の聞き取りをしています。 ・投薬は薬連絡表を提出してもらい、対応しています。	・引き続き、子どもの状況把握や適切な対応ができるように努めていきます。 ・変更があった場合にも即対応できるよう、保護者との連携を図っていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	18		・「アレルギー疾患・生活管理指導票」を医師に書いていただき対応しています。 ・食事の際は、調理員、検食者、担当保育士等、複数人でチェックしています。	・引き続き、適切な対応ができるように取り組んでいます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	18		・安全計画は作成しています。安全な環境の元、季節に応じた活動が実施できるよう、年間を見通した上で職員向けの早めの研修や環境準備をしています。	・毎年職員間で確認する機会をもち、安全管理に関する事項を共通理解のもと行うことができるよう努めます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17		・「安全計画j」についての取り組み内容を説明する機会をもち、「引き渡し訓練」「感染症に対する対応」等ご協力をいただいています。	・日々取り組んでいる「安全確保」について周知していただけるよう努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	17		・他の施設でのヒヤリハットの共有や、その都度気付いた点を職員間で報告しあい、事業所内での共有をしています。	・ヒヤリハットやケガには十分気を付け、事故が起こらないよう事業所内で共有し留意していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	17		・年度初めに職員全体で研修を実施しています。また、外部で実施される研修にも参加し、他の職員へ研修報告をしています。	・どんなときにも声をかけあうことができる職場環境に努めます。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	17		・やむを得ず身体拘束を行う場合には、組織的に決定をし、保護者に事前に同意を得た上で、児童発達支援計画に記載をし、定期的に見直しを図っています。	・定期的な見直しを図り、職員の意識の向上に努めます。